



株式会社ヒガシトウエンティワン (9029)

個人投資家向けIRセミナー



2022年9月26日

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

トピックス

5

株主還元

6

サステナビリティ

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

トピックス

5

株主還元

6

サステナビリティ

名称	株式会社ヒガシトゥエンティワン
本社所在地	〒540-0013 大阪府中央区内久宝寺町3-1-9
設立	1944年12月20日
代表者	取締役 代表執行役社長 児島 一裕
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード：9029)
資本金	10億円
従業員数	連結： 1,113名（2022年3月31日現在）
グループ会社	8社



創業期（-1970年代）

- ・1944年 大阪市東区内の運送会社13社が統合し、大阪東運送株式会社設立
- ・1947年 日本生命保険相互会社が資本参加
- ・1968年 倉庫事業を開始
- ・1979年 東京営業所開設し、首都圏へ進出



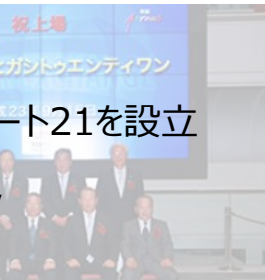
事業多角化（1980年-2000年代）

- ・1988年 ドキュメントサービスを開始
- ・1989年 産業廃棄物収集運搬業許可を取得
- ・1996年 ビル内デリバリー事業を開始
- ・2002年 ヒガシトウエンティワンに社名変更
- ・2003年 福祉用具レンタル及び販売事業を開始
- ・2005年 ジャスダック証券取引所に株式を上場



総合物流企業へ（2010年代以降）

- ・2011年 東京証券取引所市場第二部に上場
- ・2016年 ユートランスシステム(株)をグループ化
- ・2017年 (株)イシカワコーポレーションをグループ化
- ・2018年 (株)FMサポート21を設立 / (株)トランスポート21を設立
- ・2019年 指名委員会等設置会社へ移行
- ・2020年 (株)ワールドコーポレーションをグループ化 / ヒガシオフィスサービス(株)を設立
- ・2022年 山神運輸工業(株)をグループ化 / (株)旅人をグループ化



特徴的な取組

1968年に業界でいち早く“車両と荷物のマッチングサービス”（備車制度）を導入、協力会社を囲い込み

1996年に東京オペラシティビルにデリバリーセンターを開設、「館内物流事業」の先駆け

1986年にオフィス移転専門部署を設立
2020年に全国でも珍しいオフィス移転専門会社（ヒガシオフィスサービス(株)）として分社化

2016年にインフラ会社向けとしては珍しい、資材の購入・配給数の管理・調整業務を、2021年からは電設資材の仕入れ・販売業務（商社機能）をスタート

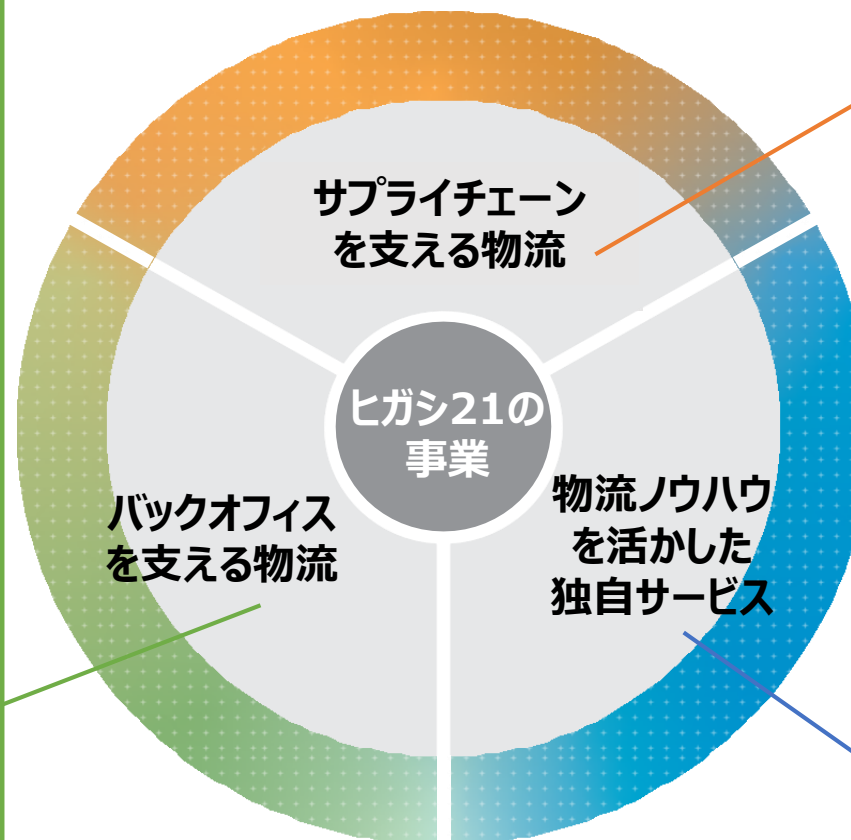
- 総務系物流・BPOソリューション



- オフィス移転



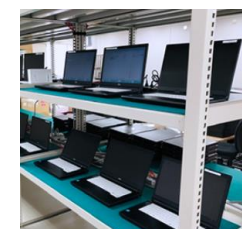
- ビル内デリバリーサービス



- 3PL・総合物流サービス



- PCキッティング・IT関連サービス



- 介護用品レンタル・販売サービス





株式会社 ヒガシ21
HIGASHI TWENTY ONE CO., LTD.

運送及び倉庫事業全般、グループ管理・企画業務



精密機器の運送及び
設置等



【物流】
保管、梱包、封入、
発送業務
【人材・ITサービス】
企業様向け受託業務



FM SUPPORT 21

ビル館内における総務
サービス業務



TRANSPORT'21

運送事業に特化



引越に関わる荷役及び
梱包等



オフィっこしなら
ヒガシオフィスサービス

事務所移転業務・引越
に関連するワンストップ
サービスの提供

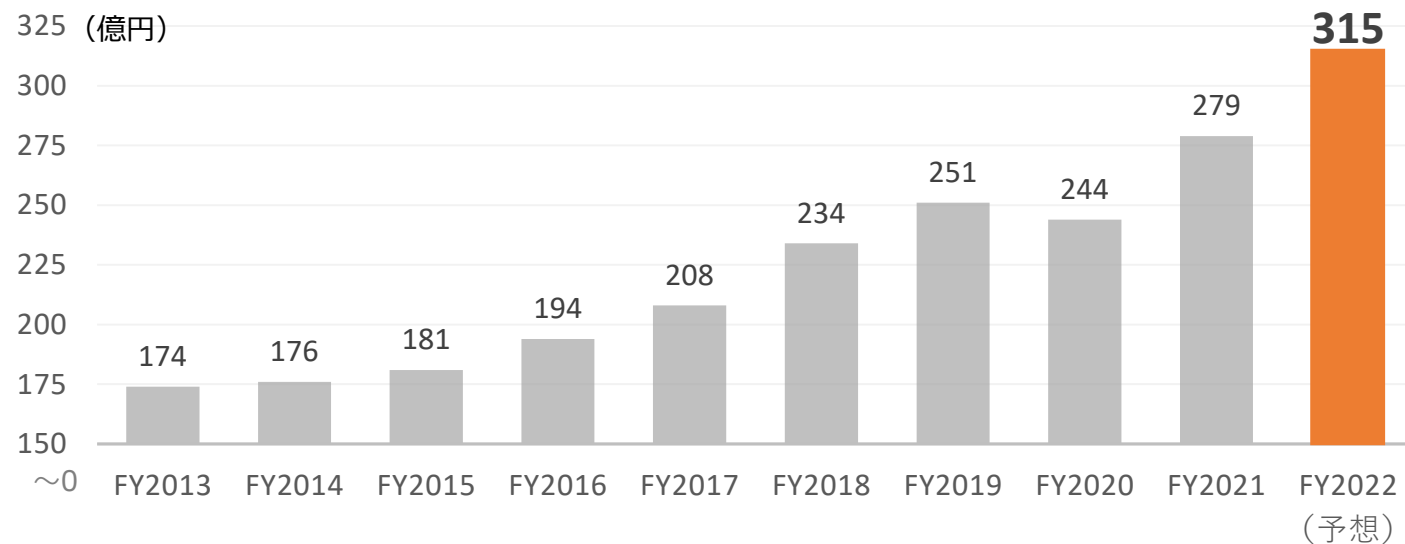


重量物配送・エンジニア
リング事業（機械据付・
メンテナンス等）



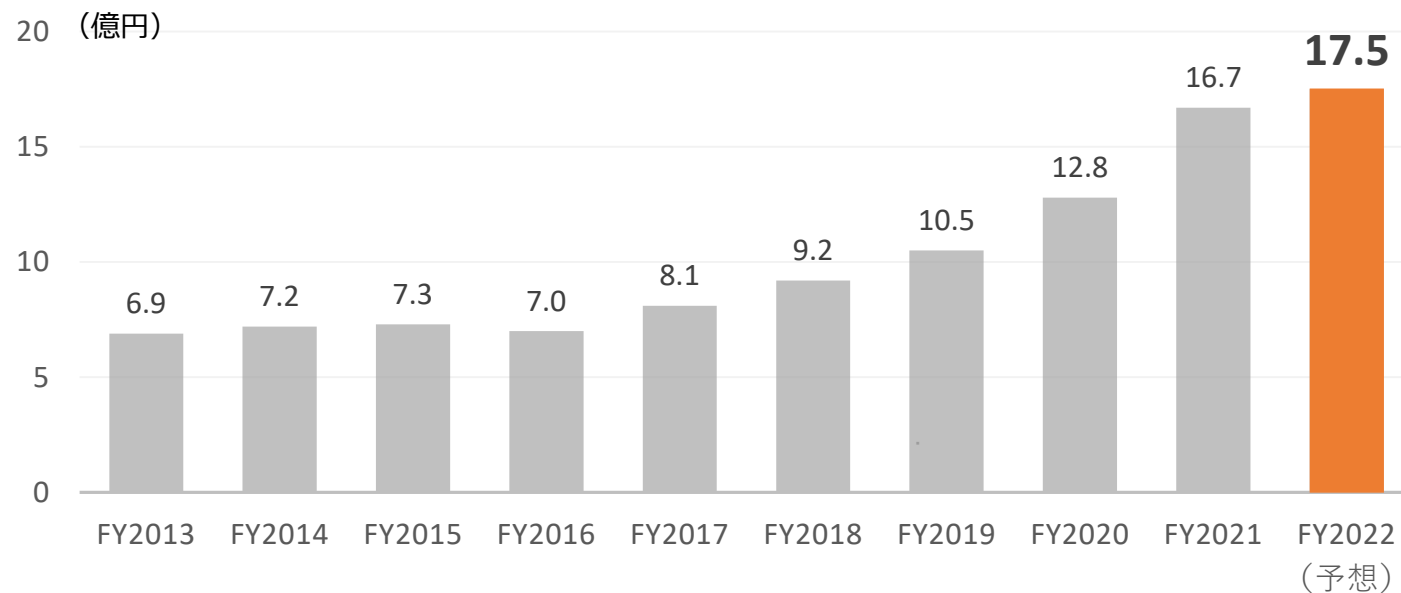
システムに関する技術サ
ポート全般

売上高



2013年度比
+81.0%

経常利益



2013年度比
+153.6%

長期ビジョン（目指す姿・スローガン）

お客様に最高のサービスをお届けするために
変革し続ける企業

Evolution for Customers

——— 全進で未来へ “シンカ” ———

長期ビジョン

グループVISION2030

経営基本理念

「安全」と「安心」を大切にして
物流事業を通じ社会に奉仕する
私達ヒガシ21

経営理念

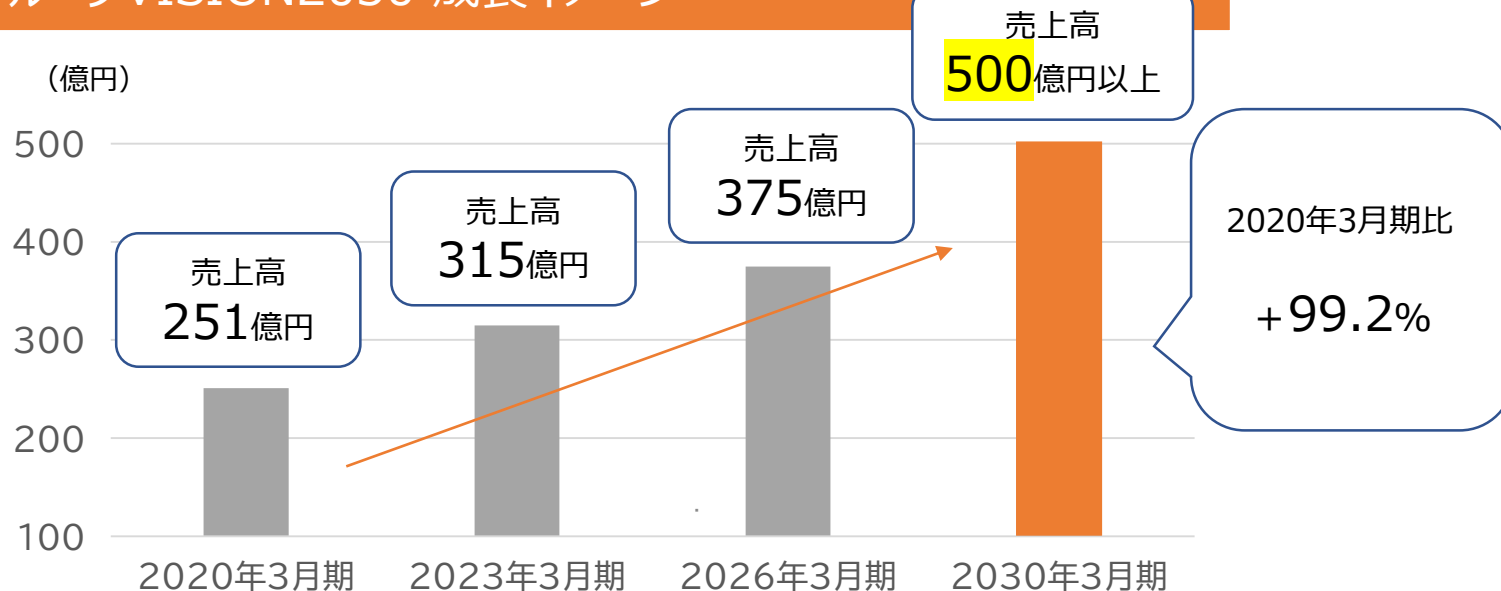
長期ビジョン（目指す姿・スローガン）

お客様に最高のサービスをお届けするために
変革し続ける企業

Evolution for Customers

—— 全進で未来へ “シンカ” ——

グループVISION2030 成長イメージ



① 幅広い分野の大手優良顧客層を安定収益基盤としていること

日本生命グループ、関西電力グループ、毎日新聞社グループは主要株主でもある

主要顧客上位の売上比率（2022年3月期）（単位：百万円）

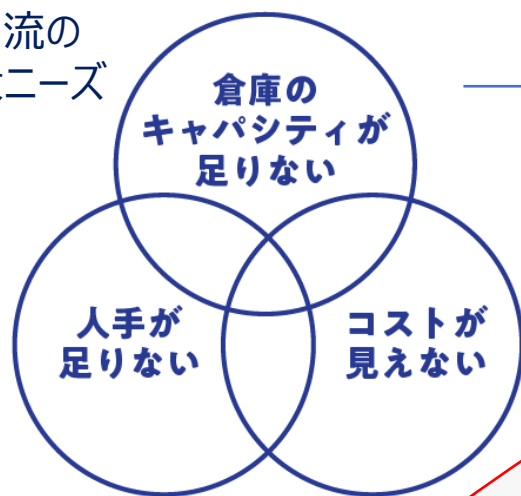
順位	顧客	売上高
1	日本生命グループ	4,743
2	関西電力グループ	3,294
3	大手e-コマース会社	1,591
4	上場オフィス什器メーカー	656
5	毎日新聞社グループ	619
~~~~~		
上位10社売上占有率		46%

## ② 個々の顧客ニーズに対応した物流設計能力（※）

（※）複雑なモノの流れに対応した【人×倉庫×マテハン×車両×システム】を最適に組み合わせる能力を表現した、当社グループの造語

提案から立ち上げ、安定稼働までワンストップで最適なお提案が可能

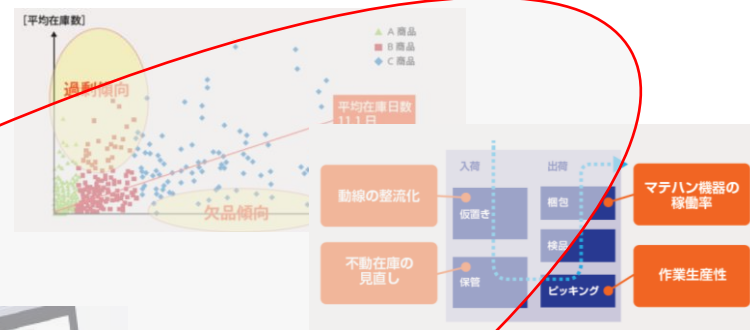
物流の  
3大ニーズ



ABC分析

ベンチマーク  
分析

稼働分析



多様なソリューション  
提供

改善「提案力」

提案「実現力」



1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

トピックス

5

株主還元

6

サステナビリティ

中期経営計画2023の3年間は、長期ビジョン達成に必要な高い成長率を獲得するためのスタートアップ期間として位置付け

## 売上目標

(億円)





- ・成長ドライバーと考える「オフィスサービス」「ビルデリ」「3 PL」で揺るぎない事業基盤を確立
- ・「M&A」で成長スピードを加速

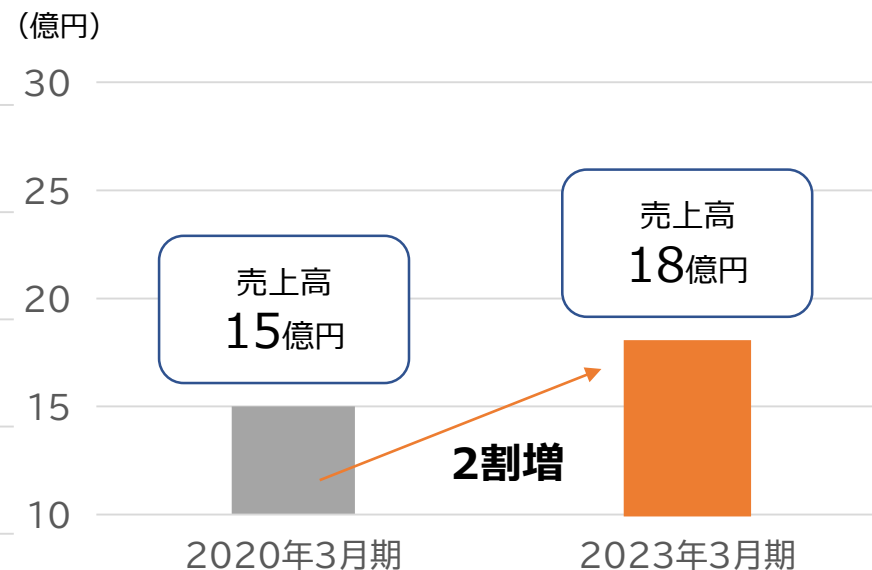
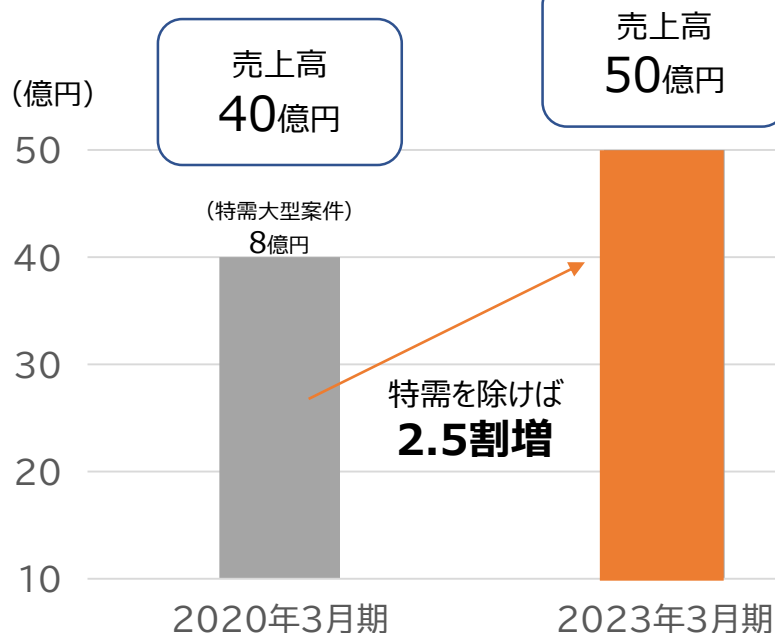
## オフィスサービス事業

事業領域の拡大  
（移転・引越の多様化対応）



## ビルデリバリー事業

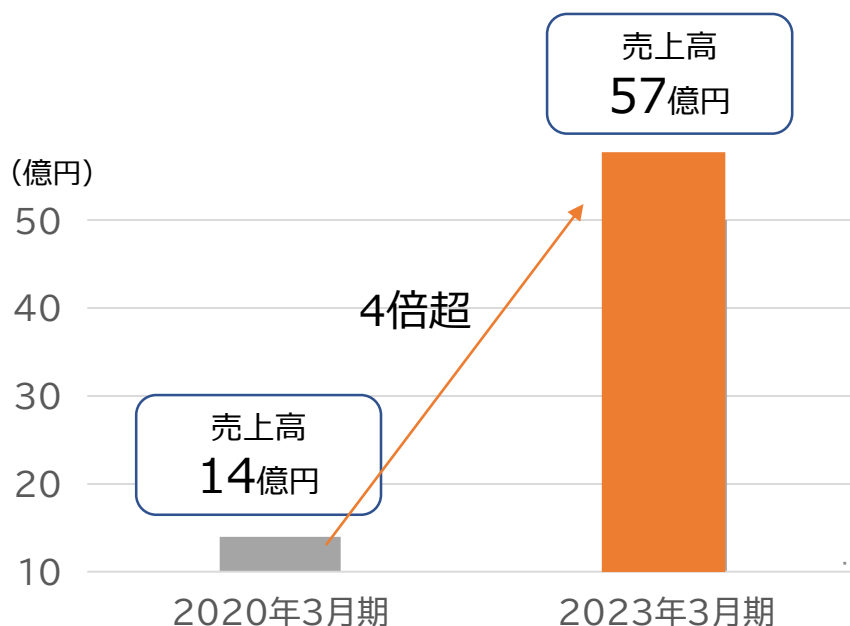
ビルデリ事業の更なる推進に加え、  
メール室事業を事業の柱に加える



- ・成長ドライバーと考える「オフィスサービス」「ビルデリ」「3PL」で揺るぎない事業基盤を確立
- ・「M&A」で成長スピードを加速

## 3PL事業

e-コマース及び  
インフラ会社資材3PLへ  
重点を移行



## M&A

ヒガシ21グループの輸送力、物流設計力、  
ITを活用したサービス力などを生かし、  
新規事業領域も含め重点事業領域を強化

- ◆単なる売上拡大ではなく、ヒガシ21グループの中長期戦略とのマッチングを重視
- ◆M&Aを専門的に行う事業開発部の人員増強
- ◆M&A後のPMIに有効なグループガバナンスを実行するためのホールディングス機能の強化

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

トピックス

5

株主還元

6

サステナビリティ

2023年3月期第1四半期における**売上高は過去最高**を更新、**経常利益は僅かに減益**

	第1Q実績	対前年同期比	
		対前年同期比	通期予想進捗率
売上高	8,053 百万円	+ 23.2%	25.5%
営業利益	469 百万円	+ 2.2%	27.9%
経常利益	504 百万円	▲ 2.3%	28.8%
親会社株主に 帰属する当期純利益	321 百万円	▲ 4.4%	28.9%

## 売上高の主な増収要因

- 2021年10月より開始した関電資材調達3PL事業、首都圏でのオフィスサービス事業の順調な拡大
- 三郷ロジスティクスセンターや小牧物流センターの開設**
- 山神運輸工業の連結開始**



三郷ロジスティクスセンター（2022年4月開設）

小牧物流センター（2022年5月開設）

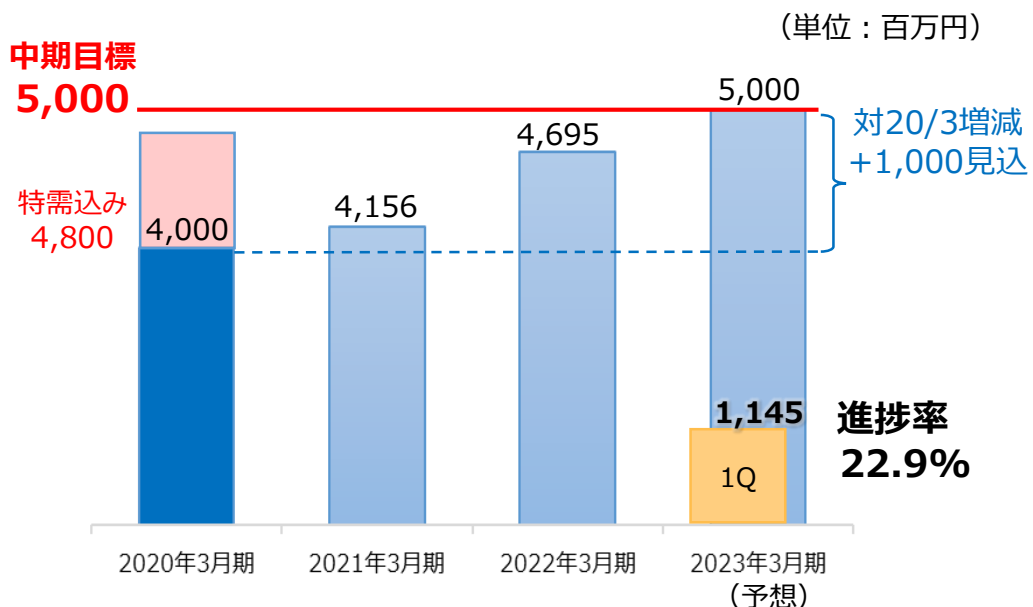
山神運輸工業のエンジニアリング事業

## 経常利益の主な減収要因

- イシカワコーポレーションの決算期変更  
(連結対象期間が繁忙期であった1月～3月から、業績が平準化している4月～6月に変更となったことが収支に影響)
- 三郷ロジスティクスセンター開設に伴う先行投資費用の発生

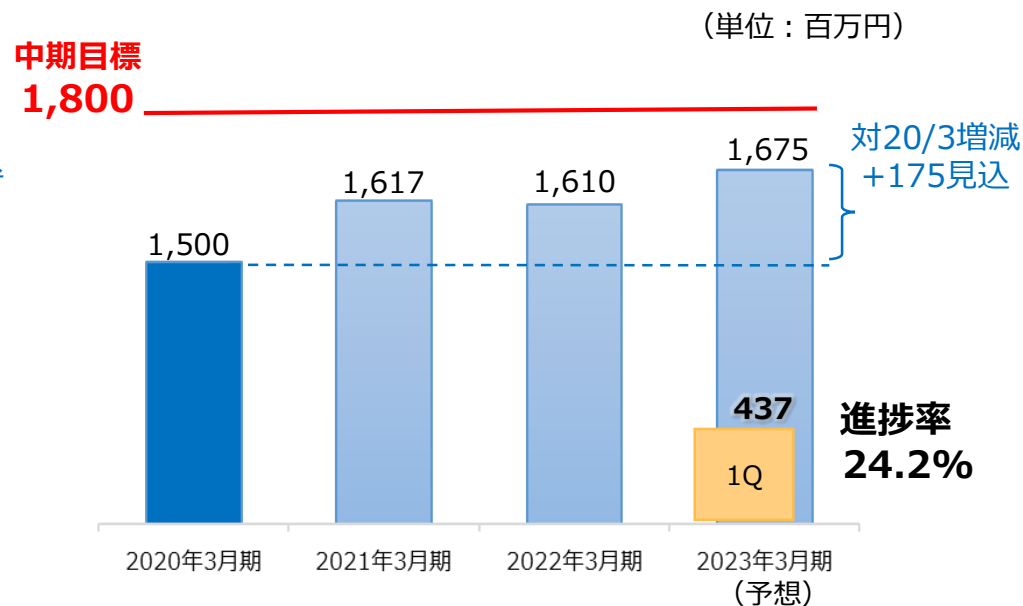
## オフィスサービス事業

主に首都圏での業容拡大により、  
中期目標**達成**見込み



## ビルデリバリー事業

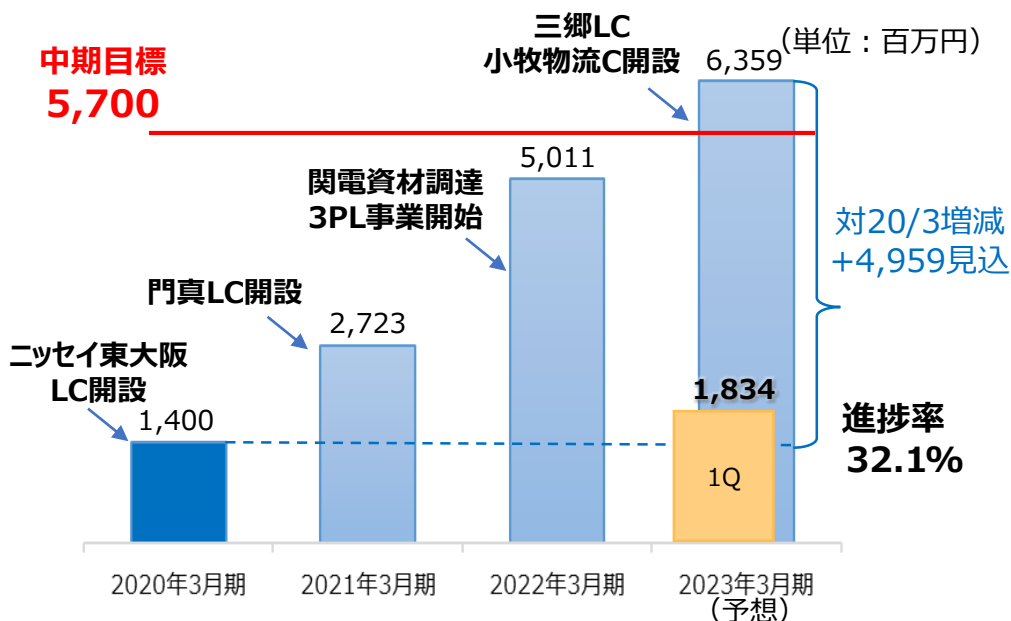
コロナ禍の人流抑制による影響を強く受け、  
中期目標の達成には、更なる進展が必要



※ 進捗率は中期目標に対する2023年3月期1Q実績の割合で算定しております。

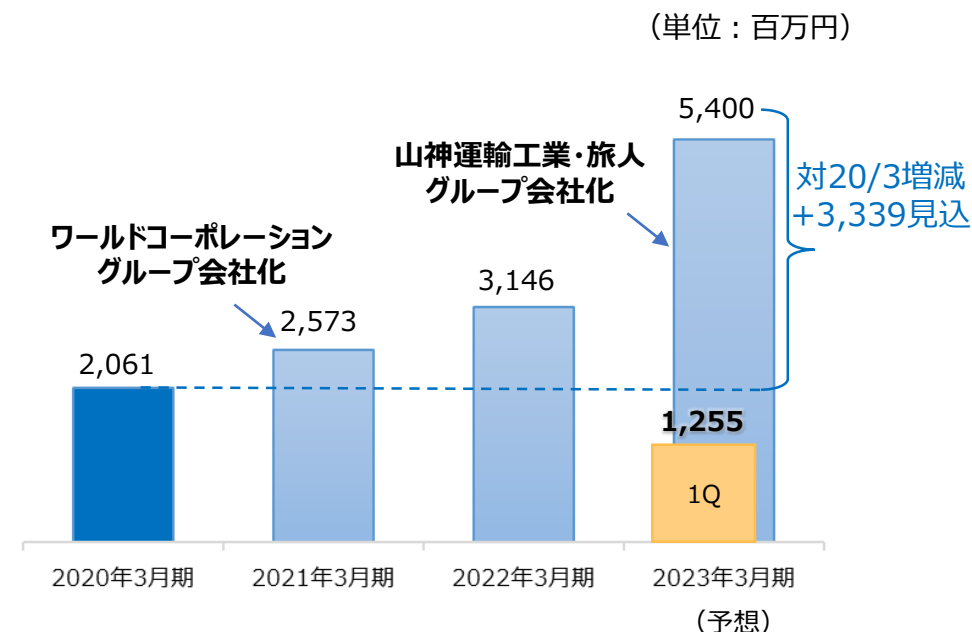
## 3PL事業

積極的な業容拡大により、  
中期目標**達成**見込み



## M&A

グループの総合力を高めるべくM&A戦略を加速



※ 進捗率は中期目標に対する2023年3月期1Q実績の割合で算定しております。

## 2022年3月期は売上高・経常利益、ともに過去最高を更新

		対前年同期比
売上高	27,953 百万円	+ 14.4 %
営業利益	1,475 百万円	+ 44.2 %
経常利益	1,670 百万円	+ 29.7 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,120 百万円	+ 68.1 %

### 売上高の主な増収要因

- ・ [中期経営計画2023]達成に向けた積極的な業容拡大
- ・ コロナ影響による業績悪化が、最も深刻であった前年同期と比較し回復基調となった

### 経常利益の主な増収要因

- ・ 業容拡大による収益源の増加
- ・ 前年度から取り組んでいた、経費削減・業務効率上昇による筋肉質な経営体制構築の効果



- ・営業利益率・ROEともに上昇しており、業容拡大と同時に収益力も向上
- ・営業活動によるキャッシュ・フローもプラスを維持しており、良好な財務健全性を維持

(単位：百万円)

## 貸借対照表・経営指標

	20/3期	21/3期	22/3期
資産合計	15,338	15,811	<b>18,140</b>
（流動資産）	7,771	8,052	<b>9,147</b>
（固定資産）	7,567	7,758	<b>8,993</b>
負債合計	6,961	6,897	<b>8,276</b>
（流動負債）	5,194	5,338	<b>5,980</b>
（固定負債）	1,767	1,559	<b>2,296</b>
純資産合計	8,376	8,913	<b>9,863</b>
（経営指標）			
自己資本比率	54.6%	56.4%	<b>54.4%</b>
ROE（自己資本当期純利益率）	8.5%	7.7%	<b>11.9%</b>
営業利益率	4.0%	4.2%	<b>5.3%</b>

## キャッシュフロー計算書

	20/3期	21/3期	22/3期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,297	508	<b>1,484</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	-260	-534	<b>-1,001</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	-420	-101	<b>-107</b>
現金及び現金同等物の期末残高	3,194	3,068	<b>3,443</b>

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

トピックス

5

株主還元

6

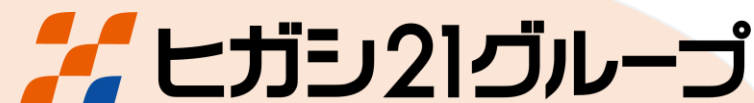
サステナビリティ

- ・2022年2月18日（金）山神運輸工業(株)（神奈川県横浜市）のグループ会社化を発表
- ・同社は創業70年以上、重量物輸送・エンジニアリング事業（機械据付・メンテナンス）に強み



- ・ヒガシ21グループの物流設計力・営業網等の活用で、効率的な事業運営・事業拡大を実現

## グループ化によるシナジー効果



- ・グループの重量物輸送力強化
- ・海上コンテナ輸送やエンジニアリング事業等新たなノウハウを獲得

名称 山神運輸工業株式会社

所在地 神奈川県横浜市中区本町4-43 A-PLACE馬車道6F

事業内容 一般貨物自動車運送事業、機械器具設置業等



### 最近3年間の経営成績及び財政状態

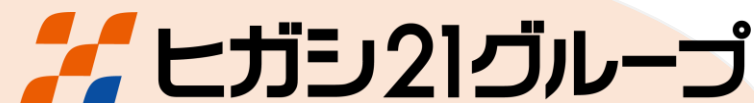
	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期
純資産	168百万円	139百万円	191百万円
総資産	975百万円	844百万円	901百万円
1株当たり純資産	1,585千円	1,312千円	1,800千円
売上高	2,183百万円	2,094百万円	2,085百万円

- ・2022年8月26日（金）(株)旅人（東京都千代田区）のグループ会社化を発表
- ・システムサポート・IT人材派遣等を展開、POS端末のシステム補修・サポートに強み



- ・ IT人材の共同採用や派遣先の相互紹介を通じた事業拡大
- ・ ヒガシ21Gの顧客基盤への取引拡大

グループ化によるシナジー効果



- ・ グループのITサービス事業の作業能力の強化
- ・ IT人材の共同採用や派遣先の相互紹介などを通じた事業拡大

名称 株式会社旅人

所在地 東京都千代田区九段北一丁目3番3号

事業内容 労働者派遣事業、コンピューター及び周辺機器等の構築・保守事業、システム開発・運用・保守事業 等

TABITO



最近3年間の経営成績及び財政状態

	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
純資産	216百万円	283百万円	362百万円
総資産	408百万円	467百万円	507百万円
1株当たり純資産	1,082千円	1,419千円	1,810千円
売上高	1,063百万円	1,018百万円	1,026百万円

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

トピックス

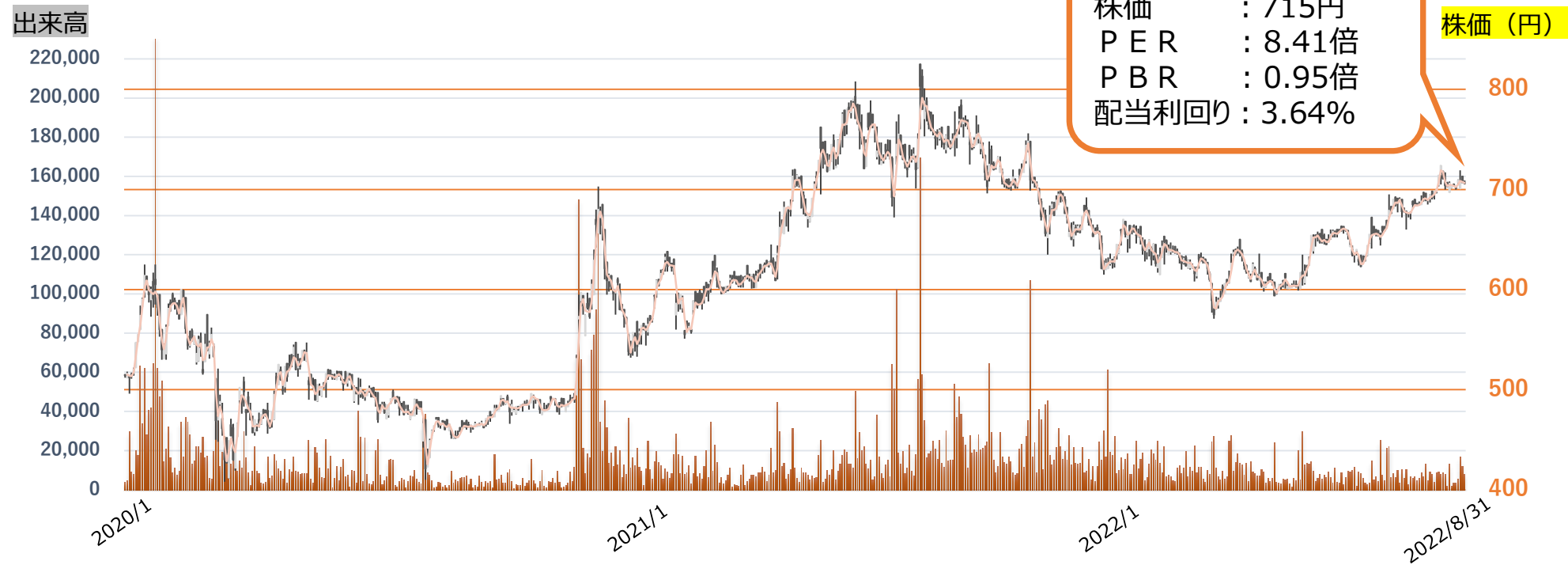
5

**株主還元**

6

サステナビリティ

株価推移（2020/1/6-2022/8/31）



時系列株価（年足）

	始値	高値	安値	終値	前年比	前年比(%)	
2022/8/31迄		660	732	571	715	+75	+11.7

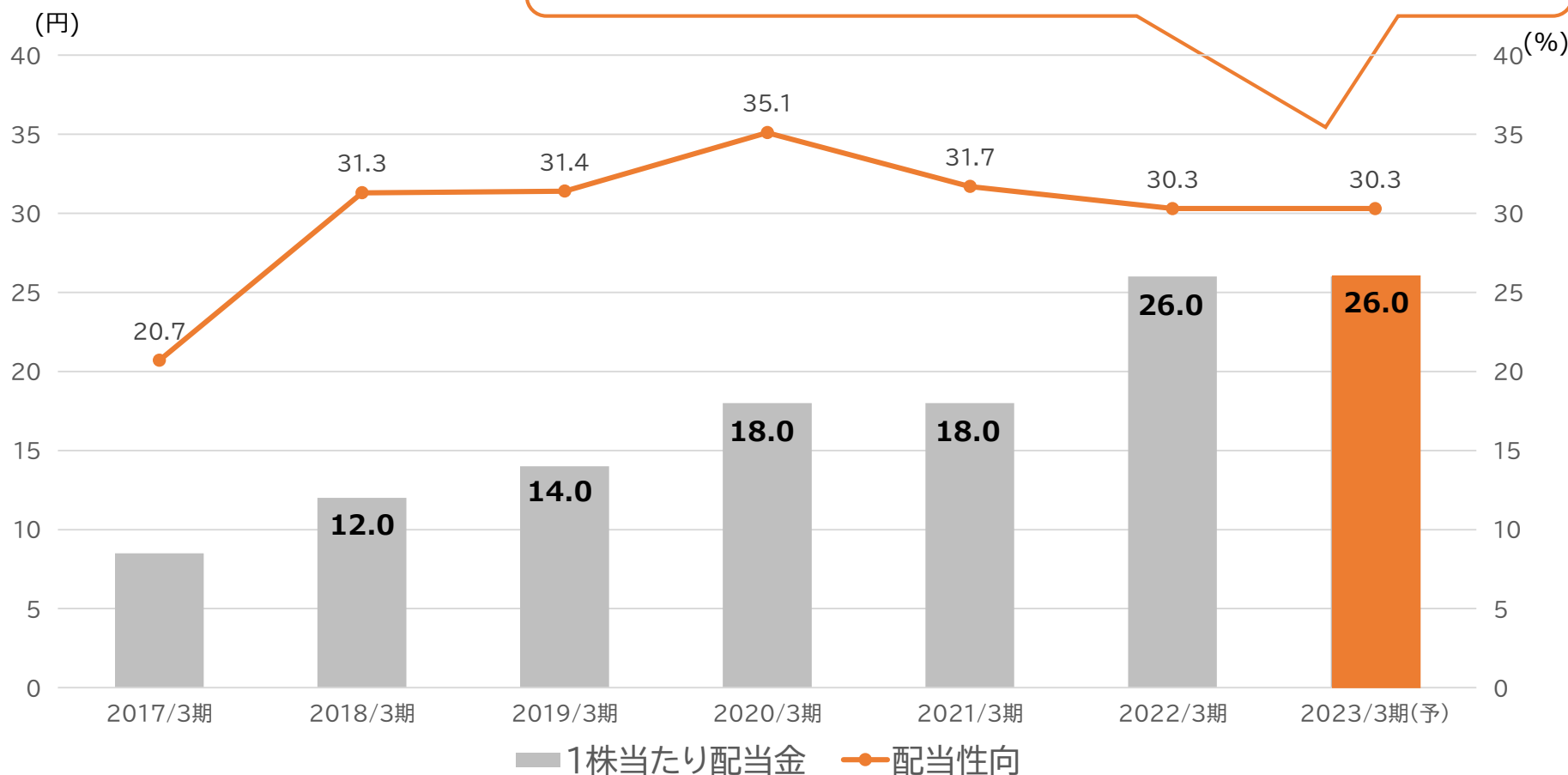
年	始値	高値	安値	終値	前年比	前年比(%)	
2021		555	825	544	640	+82	+14.7
2020		515	703	408	558	+41	+7.9
2019		405	528	402	517	+89	+20.8



当社は株主の皆様への利益還元を重要課題の一つと認識しており、連結配当性向30%以上を目安に、安定的かつ継続的な配当を実施していく方針です。

## 1株当たり配当金・配当性向の推移

中期経営計画「1株当たり20円の配当」の当初目標を上方修正し、2023年3月期は前期同様、**「1株当たり26円の配当」**を予定



## 制度内容

実施回数	毎年 1 回
基準日	毎年 9 月末日
優待内容	①500株以上1,000株未満保有の株主 ⇒ 1,000円相当のクオカード   ②1,000株以上2,000株未満保有の株主様 ⇒ 2,000円相当のクオカード   ③2,000株以上保有の株主様 ⇒ 4,000円相当のクオカード
長期保有 特典	500株以上を1年以上継続保有の株主様 ⇒ 1,000円相当のクオカード

1,000株保有時の計算例（2023年3月期実績 / 予想通りの配当 26円の場合）

（■投資金額（時価） 715円×1,000株＝715,000円）

【前提条件】

配当日は2023年6月：26円予想/株

株価は2021年8月31日基準：715円/株

■受取配当金 26円×1,000株＝26,000円

■受取株主優待 2,000円

■長期保有特典 1,000円（1年以上保有の場合）

合計 29,000円

株主優待込みの利回り：29,000円÷715,000円×100＝4.05%

（優待を除く配当利回りは3.63%）

ご参考：株式平均利回り（2022年8月末時点）※東京証券取引所公表資料

プライム市場の株式平均利回り 2.30% / スタンダード市場の株式平均利回り 2.40%

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

トピックス

5

株主還元

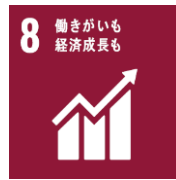
6

サステナビリティ

## 事業活動を通じたSDGs目標達成への貢献

- ・物流効率化による省エネ・地域コミュニティの環境改善、  
配送業者の作業負荷軽減への貢献
- ・住みやすい都市・資源循環の促進に資する静脈物流  
の展開
- ・資材調達 3 PL事業の展開による物流の生産性及び  
エネルギー効率の向上
- ・配送・営業車両への低公害車導入推進による、大気汚染  
物質排出削減の取り組み

当社はSDG s 目標達成に向けた貢献が  
期待できると判断され、(株)三井住友銀行から  
『SDG s 推進融資』を受けております。  
(2020年12月/2021年12月)



E

S

G

## 環境

### 低公害車導入推進

- 導入推進と意識啓発に向け、低公害車車両にステッカーを貼付し、運行
- 低公害車トラック10%以上導入目標を設定（2023年3月期）

### エコドライブの推進

デジタルタコメーターの有効活用によるアイドリング時間の軽減

### CO2削減電力プランの導入

多久ロジネットセンターでグリーン電力使用による実質CO2排出ゼロを実現（対2021年度比▲111トン）

- ・ 低公害車推進プロジェクト（車体貼付用ステッカー）



- ・ 多久ロジネットセンター外観



年間約111tのCO2を削減（2021年度対比）



## 社会

### 交通安全への取組

- 交通安全教室の開催
- こどもミュージアムプロジェクトの実施  
（絵画コンテスト・トラックラッピング実施）

### 労働環境の整備

- 大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証  
取得（2つ星）
- 「働きやすい職場認証」取得  
（対象会社 5 社）

### 社会貢献活動への参画

- ヒーローズカップ（小学生ラグビー）協賛

- ・ こどもミュージアムプロジェクト（ラッピングトラック）



- ・ ヒーローズカップの様子





### （コーポレート）ガバナンス

#### 開かれた経営への取組

##### - 2019年指名委員会等設置会社へ移行

###### 取締役会

- ▶ 執行役及び取締役の監督
- ▶ 経営基本方針決定

###### 報酬委員会

- ▶ 中長期的な業績向上につながる役員報酬の検討を通じて、役員報酬の客観性・妥当性を確保

###### 指名委員会

- ▶ 取締役候補の選定プロセスの客観性・妥当性を確保

###### 監査委員会

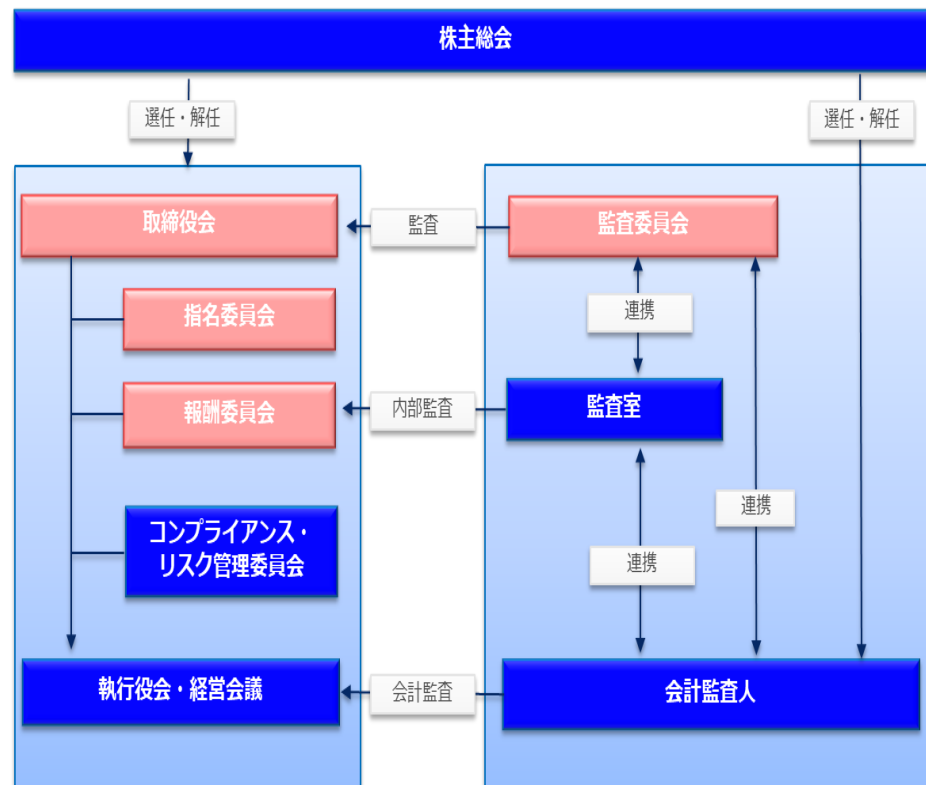
- ▶ 独立的立場から会社の業務執行が公正妥当か否かを監督

- ・ 上記の会議体全てで社外取締役過半数を確保
- ・ 取締役会は10名（男性8名、女性2名）で構成

※ 指名委員会設置等会社の割合は

プライム3.7%/スタンダード0.7%に留まる

#### ・ ガバナンス体制図





# 『時空価値創造企業』を目指す

## (注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシ21グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

## ■コーポレートサイトURL

<https://www.e-higashi.co.jp/>

その他、各種情報を配信しておりますのでぜひご登録ください

